

平成30年度 長岡市の療育・相談体制の検討ワーキング部会 報告

開催日時

平成30年10月10日(水) 午前9時30分～11時30分

開催場所

さいわいプラザ 602会議室

出席者

子ども・子育て会議委員(桃生委員、竹樋委員、田邊委員)

障害児通所支援担当者(長岡療育園通園センター 桑原 拓 氏
多機能こどもセンター銀河 平原 壮一 氏)

【事務局】 青少年育成課(双葉寮)、保育課、子ども家庭課(すくすく子育て係、
柿が丘学園、子ども家庭センターすこやか応援係、相談係)

内 容

H29年度ワーキングでの提案
を受けたH30年度事業化案につ
いての検討

▶ ワーキングの様子



平成30年度 長岡市の療育・相談体制の検討ワーキング部会 報告

昨年度ワーキングでの提案

- ①発達の不安について、今より気軽に相談できる場があるとよい。
- ②[相談前] どこに相談していいかわからない
[相談後] どこで何を担当しているかわからない
[福祉サービス利用後] どんなサービスが使えるか、どんな違いがあるかわからない
- ③事業所間または、事業所と保育園・幼稚園等とのもっと情報共有できる仕組みがあるとよい。
- ④将来の見通しなど、先を見据えた総合的で専門的なアドバイスがほしい。
- ⑤乳幼児健診・訪問後のフォローが充実するとよい。



H30年度の実施予定等

- ①発達の気になる子の出前相談会の実施
…子育ての駅等で実施予定。
(今年12月と3月中旬頃の開催で調整中)
- ②相談窓口やサービス等の情報を集めた「子どもの発達ガイドブック」を作成中
→支援者側が窓口対応で活用。どの窓口でも総合的な案内ができるように
→保護者向けには子育ての駅等でも配布
- ③事業所間の情報交換会の実施
→ 10/25(木)相談支援事業所向けを実施
11/7(水)通所支援事業所向けを実施
- ④児童発達支援センターや市関係機関について、機能整理や役割分担を検討し、相談体制を充実させる。
- ⑤保健師が病院と緊密に連携し、早い段階から訪問等によりフォロー。ままりらを利用し、同じ疾患や障害を持つ子の親の交流の場を設けたりしている。
(実施中)

平成30年度 長岡市の療育・相談体制の検討ワーキング部会 報告

部会員からの意見・アイデア等

出前相談会

- 保育園でのチラシ配布は、園によって配布できる方法が異なる。(園児全員or気になる子だけ)
- 「発達」というキーワードがあると保護者は敬遠する恐れもあるので、「育ち」くらい柔らかい表現がよいのでは。
- あまり柔らかい表現だと発達以外の育児相談も含まれてしまうので、ある程度限定してはどうか？
- 「よく動いて心配」「お友だちと上手く遊べない」といったテーマを出すということだが、「じっくり取り組むコツ」とか「上手に遊ぶコツ」とかポジティブな表現にしては？
- チラシを小児科にも設置してもらってはどうか。

ガイドブック

- 実際に相談をしたことのある保護者や、サービスを利用したことのある保護者及び児童の体験談のようなものを入れるという案は、不安な保護者にとって心強い情報になると思う。
- (児童発達支援センターの部会員より)、可能であれば利用者の方々からのコメント提供ができるか確認してみる。
- 児童向けにショートステイを行っている事業所がほとんどない。そうした実状を掲載できないか。
- せっかく作るのだから、しっかり活用されるよう、誰を対象にどういう活用をしていくかよく検討してほしい。

その他

- 市の保健師の具体的な活動を今日初めて知った部分がある。今後も連携を深めたい。
10/25の情報交換会へ保健師からも出席してほしい。
- 以前よりよくなったようだが、学校における「すこやかファイル」の活用度が低いと感じる。
- 障害児向け福祉サービス利用児童について、保護者が他に利用しているサービスをわかっていない場合があるので、市からも情報がほしい。
- すこやか応援係には、引き続き園の保育士の力を補ってほしい。